

アート×被災地支援「DEAR_to」キッズ
のと鉄道応援プロジェクト

ヒカリを かたちに しよう！

地震で被害を受けたのと鉄道を応援するため、能登復興への“ヒカリ=みんなの希望や笑顔”をイメージしたハブラシとシャンデリアをアーティストと一緒に制作し、被災地に元気を送ろう！

- 【開催日】 **2024年3月24日(日)**
【時間】 9:30～11:30(受付9:10～)
【場所】 石川県立図書館 だんだん広場
【対象】 年長～小学4年(小学2年以下は保護者同伴)
【定員】 30名(定員を超える応募があった場合は抽選)
【参加費】 無料

- ワークショップ① **ヒカリのハブラシ**
(自分のデザインした絵を後日ハブラシにしてプレゼント!)
- ワークショップ② **ヒカリのシャンデリア**

アート×被災地支援 | DEAR_to (ディアトゥ)

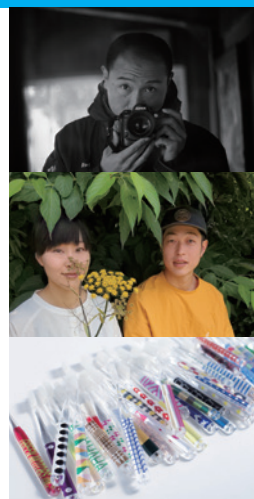
企画趣旨

風光明媚な能登半島の海沿いを走る「のと鉄道」は、令和6年元日に発生した能登半島地震によって甚大な被害を受けました。地域住民や観光客を運ぶインフラとして、重要な役割を担っているため、現地では1日も早い全線開通に向け、懸命な復旧作業が進められています。そんな頑張っているのと鉄道を応援したい。今回のプロジェクトは、被災地のために何かしたいと思う子どもたちがワークショップに参加し、のと鉄道の全線復旧に向けて、その想いをアートで届ける活動です。活動のテーマは、「ヒカ리를カタチにしよう!」。子どもたちはのと鉄道の被災状況などを学びながら、「DEAR_to」に参加するアーティストと一緒に、能登復興への“ヒカリ=みんなの希望や笑顔”をイメージしたアート作品を制作し、被災地に元気を送ります。

ワークショップ① ヒカリのハブラシ

写真家・湯浅啓の写真を通して、のと鉄道の役割や地震の被害について学びながら、子どもたちに“希望や笑顔”をテーマにした絵を描いてもらい、そのイラストを絵本作家の竹与井かこがコラージュし、能登復興を願う「ヒカリのハブラシ」を制作します。のと鉄道の全線復旧に合わせて販売し、被災地を応援する気持ちを全国に広げたいと考えています。収益金は、のと鉄道株式会社様に全額寄付します。また、参加者には自分の描いた絵を後日ハブラシにして3本プレゼントします。

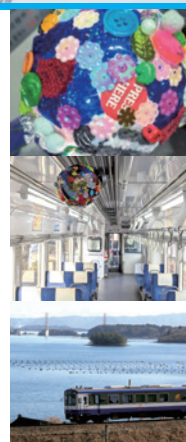
【アーティスト】 湯浅啓(写真家)、竹与井かこ(絵本作家)



ワークショップ② ヒカリのシャンデリア

シャンデリアアーティストのキム・ソンヘと子どもたちが能登の復興を願いながら、球体にスパンコールやビーズといったきらめくパーツを飾り付け、「ヒカリのシャンデリア」を制作します。作品はのと鉄道の全線復旧に合わせて車両内に展示されることになっていて、のと鉄道を利用する被災地の方々に希望や笑顔を届けたいと考えています。

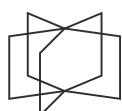
【アーティスト】 キム・ソンヘ(シャンデリアアーティスト)



アート×被災地支援「DEAR_to(ディアトゥ)」について

これまで学校の授業などを通じて、石川の子もたちと交流したことのある全国のアーティストらが中心となり、能登半島地震の被災地をアートで支援しようと発足した団体です。現在、デザイナーやアートディレクター、スタイリスト、カメラマンら第一線で活躍するアーティスト約20人が参加しており、ものづくり企業とのコラボによるチャリティグッズの制作・販売や子どもたちによるワークショップなど様々なプロジェクトを企画し、被災地の支援に取り組んでいます。

お申し込みはコチラから



石川県立図書館
Ishikawa Prefectural Library

〒920-0942 石川県金沢市小立野2丁目43番1号
Tel 076-223-9565(代表) 駐車台数:400台
<https://www.library.pref.ishikawa.lg.jp>

